

関口会

第41期の総会を開く

インボイス制度で講演会も



あいさつの関口名
誉会長



あいさつの籠島会
会長

首都圏有数の浅漬・キムチ製造ベンダーとして知られる関口漬物食品(株)(世田谷区鎌田、関口悟社長)との取引先で組織される「関口会」(籠島正雄会長・株新進社長)では6月22日、二子玉川エクスセルホテル東急30階で第41期の総会を開き、ゴルフコンペの開催(11月16日)などの新年度事業を決めた。また、役員会においては久方ぶりの海外視察研修も検討していることとなった。

総会後は「インボイス制度」の講演会、そして懇親会も開催、相互に活発な情報交換の場となった。総会は関口漬物食品(株)の関口修常務の司会進行で、籠島会長があいさつに立った。籠島会長は大勢の出席者にお礼を述べながら、コロナも落ち着きさまざまな会合に出席しているが、生活スタイルも大きく変化してきた。業界は原料、エネルギー高など大きな課題を



講演会も実施

引き続いた。閉会の辞を、やまづ(株)取締役の佐藤公彦氏が行った。閉会式は終了した。演会は、平井満広氏を講師

抱えているが、こうした場を通して意見交換・情報交換が行えればよいと述べた。その好例として昨年度の総会で三宅しげき都議会議員と情報交換した中で、都議会議長室

に招かれ、その結果、学校給食を担当する管理栄養士に対して説明会が開催されたこと。そしてやまづ(株)と株新進が共同制作した漬物の家庭科副読本100部も提供したことを説明した。議長に籠島会長が就いて、事業・決算報告を、関口常務が行い、若林正樹氏の監査報告を経て、全議案が承認、可決された。閉会の辞を、やまづ(株)取締役の佐藤公彦氏が行った。閉会式は終了した。演会は、平井満広氏を講師

に迎え、どうする「インボイス制度」と題して行われた。その中で、インボイス制度の概要をはじめ、記載例や価格交渉、電子帳簿保存法などについて詳しく説明され、質疑応答があった。

あいさつに立ち、多数の出席者にお礼を述べるとともに、SDGsなどへの対応事例として、同社ではクリップ製品を廃止、また、印刷ラベルも製品に合わせてカラーにしていること。また、会の業績では9月が締めだが、4月末で昨年対比

102・5%となったことを披露しながら、今後とも気を引き締めて取り組んでいくとして、より良い製品の提供も求めた。さらに農水省で取り組んでいる「漬物で野菜を食べよう!」プロジェクトの有効活用も促し、

乾杯の発声をヤマサン食品(株)社長の大澤幸雄氏が、50年間にわたる取引に感謝しながら、コスト高、人手不足対応も含めた情報交換となればと述べて行った。しばし情報交換で盛り上がりを見せた中、(株)浜食社長の中村秀一郎氏による閉め、さ

らに関口漬物食品(株)取締役事業部長の木村稔氏の謝辞で終了した。なお、当日は伊藤たけし渋谷区議会議員、越智隆雄衆議院議員(代理)もお祝いに駆けつけ、関口会の益々の発展を祈念した。(阿部正一)